

■牧野成貞 大名。側用人の始。ケンペルをして'通常の君主には、こんな優秀な家来を用いられない'と評させた。

まきのなりさだ

鎖国令Ⅱ・・・1634＝江戸で、幕府旗本で書院番頭牧野儀成の次男に生まれる。母は朝倉在重の娘。父は越後国長岡藩主牧野忠成の弟で、上野国大胡藩主牧野康成の庶子であった。

家光鎖国完成1641＝7歳：

寛永飢饉終・1643＝9歳：

徳川家光没・1651＝17歳：

承応事件・・・1652＝18歳：

明暦の大火・1657＝23歳：

・・・1660＝26歳：父が死去して、家督を相続。3代将軍徳川家光の庶子で後の将軍・綱吉の側衆となり、神田館に出仕。

清帝国始・1661＝27歳：綱吉が上野国館林藩主に分家すると、奏者番として仕える。

酒井忠清大老1666＝32歳：

入鉄砲出女令1667＝33歳：長女松子が誕生、

シャクシャインの乱 1669＝35歳：次女安子が誕生。

・・・1670＝36歳：*家老(3000石)に抜擢される。

・・・1671＝37歳：三女亀子が誕生。

越後騒動・・・1679＝45歳：

徳川綱吉将軍1680＝46歳：*綱吉が、将軍世継ぎとして、呼び戻されると、これ従い側衆となり、4代将軍徳川家綱の死後、常陸国内1万3千石の大名となる。

天下一禁止・1681＝47歳：江戸幕府で初めての側用人に任命され、以後綱吉の最側近として初期の綱吉政権を支える。

八百屋お七・1683＝48歳：下総国関宿藩に移封され、下総国・武蔵国・常陸国あわせて2万石加増し5万3千石を領する。官位も従四位下備後守・侍従に昇る。

堀田正俊暗殺1684＝49歳：大老堀田正俊が暗殺されたのを機に、老中の御用部屋が将軍の居所から遠ざけられたため、将軍と老中の仲介役として側用人の成貞が大きな力を持つようになる。

生類憐令始・1687＝53歳：

日本永代蔵・1688＝54歳：*和泉・下総・常陸・下野の計7万3千石に封ぜられた。この年から、綱吉が牧野邸へ赴くことが多くなる(のべ32回、うち桂昌院同伴13回、また桂昌院単独は別に3回)。この年、柳沢吉保が側用人となる。

・・・1689＝55歳：次女安子の婿養子に迎えていた守時が早世、続いて安子も死去。以後、養子を迎えようとせず、

これを憂えた桂昌院から説得され、将軍命で養子成春を迎え、

生類憐令頂点1695＝61歳：*隠居し、成春に家督を譲る。家督を相続してまもない成春に、綱吉は特別な功劳がないにもかかわらず7000石を加増して、三河吉田藩に転封を命じた。隠居後の成貞に対する加増とみることができる。

・・・1697＝63歳：

・・・1706＝72歳：

富士宝永噴火1707＝73歳：成春も早世。

徳川綱吉没・1709＝75歳：綱吉が死去すると、剃髪し、大夢と号する。

・・・1710＝76歳：新将軍家宣から、餞別として、羽織三領を下賜され、有馬温泉に湯治に出かけ、長旅。

乾山陶器店・1712＝78歳：病に罹り、没した。